



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

2011年4月10日 No.748

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL.3786-6674



共産党 品川

検索

いまこそ

福祉・防災に全力

被災者へ区民住宅22戸。応募147世帯



被災地では一般のボランティアを受け入れる状況になっていません。日本共産党は救援募金に取り組んでいます。写真左は、戸越公園駅前で救援募金を訴える共産党支部のメンバーと私(みやざき)。

救援活動は様々な団体で取り組まれ、広がっています。写真右は、商店街に掲げられた被災者支援の横断幕(戸越公園駅南口商店会)。



東日本大震災被災者のみなさまに見舞い申し上げます。死者・行方不明者2万7千人という未曾有の大災害に支援の輪が広がっています。日本共産党はみなさんと力を合わせ救援と復興に全力をつくすとともに、福祉と防災のまちづくりをすすめます。

日本共産党品川地区委員会と区議団は、地震発生直後から区内の被害を調査。福島原発から避難した方の住宅確保や被災者救援募金に取り組み、4月1日現在214万円が寄せられました。募金は共産党本部を通じて被災自治体に届けています。

また、共産党は避難者への住宅提供など支援に全力を尽くすよう区長に緊急要望を提出しました。区は避難者向けに区民住宅の空室22戸を提供。入居者募に147人が応募しました。

品川区は災害援助協定を結んでいる岩手県宮古市に援助物資を輸送。区内中小企業向けに緊急融資を実施しました。

〈お知らせ〉当ニュースは選挙期間中は発行を休みます。

日本共産党品川区議会議員

みやざき克俊

生活相談
16年で
のべ6千件

被災者支援



福祉と防災、中小企業の支援を

4つの
緊急
公約

- ① 特養ホーム・認可保育園の増設
- ② 住宅・マンションの耐震化促進
- ③ 区営住宅、高齢者住宅の増設
- ④ 国保料・介護保険料の軽減を

原発でなく自然エネルギー推進に転換を

私は、大災害から住民の命と財産を守るため、住宅・マンションの耐震化をすすめます。いざという時に区民が入れるよう区

営住宅や特養ホームを増設します。大震災後の景気悪化でたいへんな中小企業の支援を強化します。

ゆたか診療所

権守光夫

みやざき克俊さんは訪問看護ステーションと特養ホームの増設、子ども医療無料化をすすめてきました。議会に必要です。



プロフィール

1955年、新潟県大和町(現:南魚沼市)出身。立正大学夜間部中退。ゆたか病院(現:ゆたか診療所)、大田病院に勤務。95年より品川区議会議員4期目。現在、日本共産党品川区議団幹事長。

<お知らせ>

救援募金を受け付けます

日本共産党は「東日本大震災」の救援募金を受け付けています。

○郵便振替 00170-7-98422

○口座名義 日本共産党中央委員会

送金する場合は、必ず通信欄に「地震救援募金」と明記ください。なお、手数料はご負担ください。

お困りのときは

お気軽にご相談ください

●くらし・区政の相談はいつでも受け付けます。

●無料法律相談は4月28日(木) 弁護士が対応します Pm6:30~です。



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所
品川区豊町6-2-1 Tel3786-6674